



循環のみちを拓く

下水道展'10 名古屋



COP10パートナーシップ事業：多様な生き物や生態系を守り、その恵みを将来にわたって利用するために結ばれた「生物多様性条約」の10個目の締約国会議「COP10」が、2010年10月愛知県名古屋市で開催されます。

7/27日(火) ▶ 30日(金) ポートメッセなごや 第2・3展示館

ガイドブック

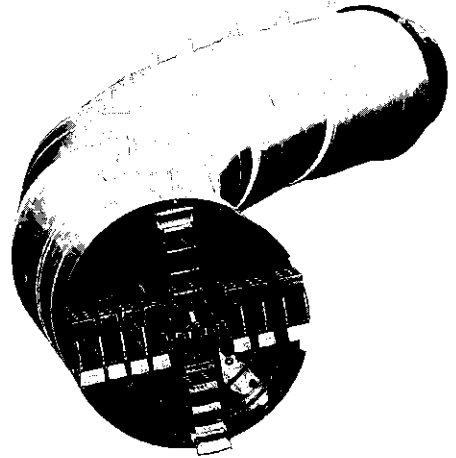
社団法人 日本下水道協会

- 所在地 = 〒581-0038 大阪府八尾市若林町1-76-3 朝日生命ビル1階
- 事務局 = 関西 (大阪府) 事務局, 関東 (東京都) 事務局
- 担当部課名 = 関西 (大阪府) 事務局 (中川企画建設株式会社 内)
- 取扱品目 = 推進工法とシールド工法のコラボレーション技術 (特殊推進工法)

- 電話 072-920-1123 ●FAX 072-920-1588
- 電話 072-920-1123 ●FAX 072-920-1588
- URL <http://www.eco-speed-shield.com>
- e-mail info@eco-speed-shield.com

推進工法とシールド工法のコラボレーション技術で未来環境を創造する。特殊推進ESS工法協会

エコスピードシールド (ESS) 工法は、仕上り内径1,000mm～2,000mmを対象に、推進工法とシールド工法、双方のメリットを融合させた『推進・シールド併用タイプ』の施工技術を軸に、より経済性・安全性及び品質に優れ、環境にも配慮した特殊推進工法です。①【シールド工法区間での急曲線部も含め、全て2次覆工省略型セグメントを採用する事で、工期短縮と共に掘削排土量 (産廃量) の削減が可能です。】②【『推進・シールド併用タイプ』の選択により、長距離、急曲線での推進工法採用によるリスク低減は勿論、通常のシールド工法と比較し経済的で工期短縮が可能です。】③【仕上り内径1,000mmから、1スパン1,000m以上、急曲線ではR=10mの施工が可能です。】尚、今回の下水道展では、ESS工法用セグメントを展示しておりますので、御来場の際には是非ESS工法協会のブースにお立ち寄り下さい。



SDライナー工法協会

- 所在地 = 〒370-0015 群馬県高崎市島野町890-8
- 担当部課名 = 事務局
- 取扱品目 = 下水道管渠更生工法 (SDライナー工法)

- 電話 027-352-7867 ●FAX 027-353-5320
- URL <http://www12.wind.jp/sd-liner>
- e-mail sd-liner@dan.wind.ne.jp

SDライナー工法 (技術審査証明書取得)

下水道管渠の取付管を含む全体更生



●工法の概要

熱硬化性ライニング材料を、取付管更生は空気圧で、本管更生は水圧で反転し、温水の循環にて硬化させ、取付管と本管を一体化更生する工法です。

●工法の適用範囲

管種：鉄筋コンクリート管・陶管・硬

質塩化ビニル管

管径：取付管φ125mm～200mm
本管 φ200mm～600mm

●工法の特長

○取付管は、本管と取付管の樹までの全体を更生し、曲管・破損・浸入水がある既設管渠でも施工可能である。

○本管は、マンホール間の全体を更生し、クラック・破損・浸入水がある既設管渠でも施工可能である。

○取付管と本管を一体化更生することにより、接合部は0.1MPaの外水圧・内水圧 (JSWAS A-1による水密性試験) に耐える止水性を有する。

○取付管と本管の更生管単体は、更生材料を選択することにより、下水道用硬質塩化ビニル管と同等以上の偏平強度 (JSWAS K-1) を有する自立管を形成できる。

○更生管は、耐薬品性 (JSWAS K-2)・耐摩耗性 (JIS A1452) があり耐久性を有する。

○耐震性を有する更生管が可能。